



平成31年1月7日  
海上保安庁

## 日本提案の海底地形名を国際会議が承認

平成30年10月に世界の海底地形名を標準化するための国際会議において、日本から提案した海底地形名が73件承認されました。

国際水路機関（IHO）とユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）が共同で設置する「海底地形名小委員会」\*が平成30年10月23日から27日までニュージーランド（ウェリントン）で開催され、審議の結果が今般発表されました。

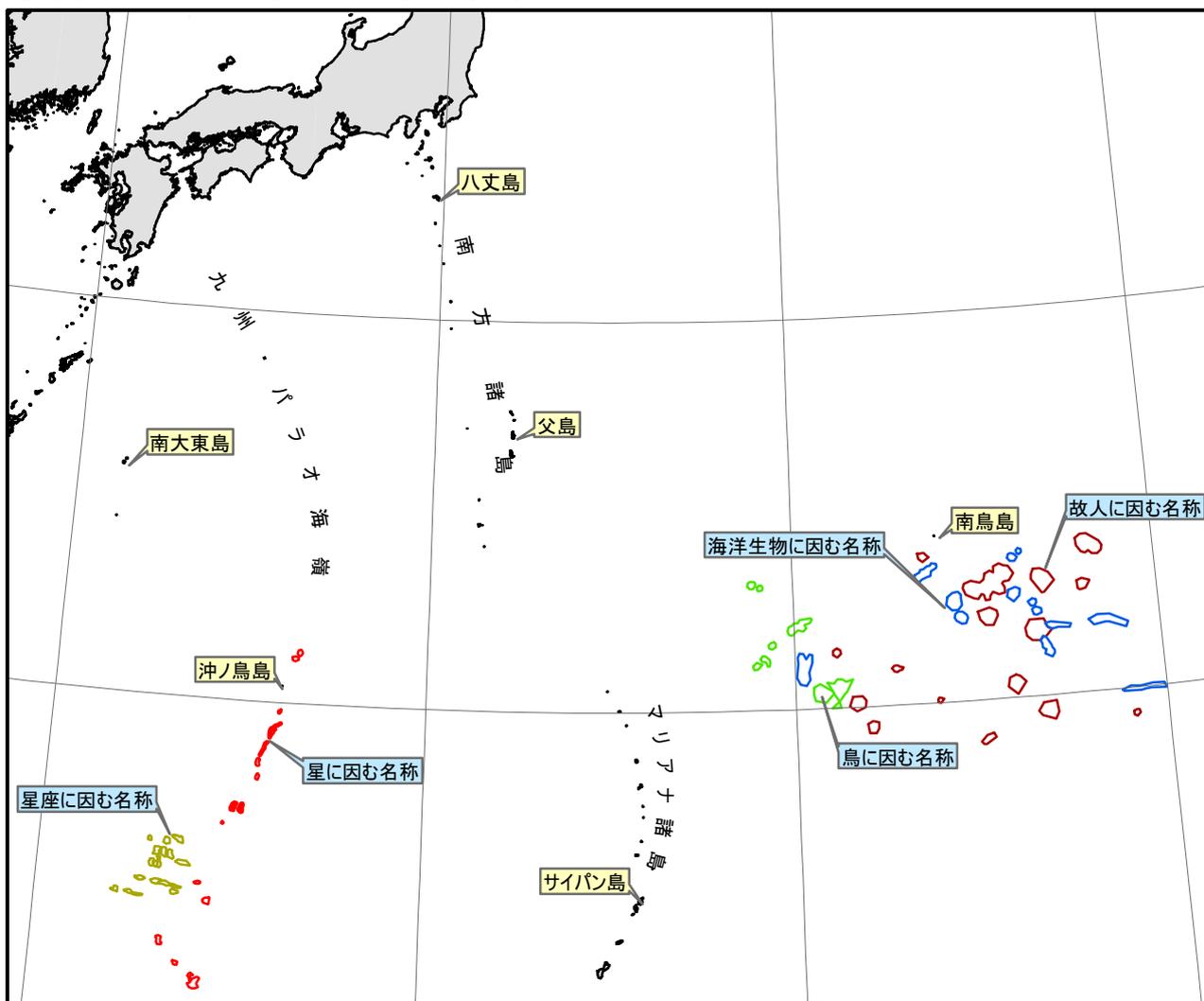
各国から提案された海底地形名のうち150件の名称が承認され、我が国は73件が承認されました。我が国の提案が承認された名称は、累計で500件を超えました。

承認された名称は、沖ノ鳥島南方と南鳥島南方の地形に付けられたもので、星、星座、鳥、海中生物や海洋調査等に功績があった故人に因んでいます。（別紙参照）

これらの海底地形名は、IHO/IOC 海底地形名集に掲載されることで世界中に周知され、地図・海図や論文などで使われます。

※海底地形名小委員会（SCUFN）とは、世界の海底地形名を標準化するための学術的な委員会です。SCUFN への提案は、領海外の海底地形について、誰でも行うことができますが、我が国では海上保安庁が委嘱した有識者で構成される「海底地形の名称に関する検討会」（[www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/topographic/JCUFN/jcufn.html](http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/topographic/JCUFN/jcufn.html)）における検討を経て提案を行っています。

# 承認された海底地形名と位置



- 星に因んだ名称(19件)
  - 東木星海山
  - 北天王星海山
  - 冥王星海膨など
- 鳥に因んだ名称(10件)
  - 真鴨海山
  - 葦鴨海山
  - 鈴鴨海山など
- 星座に因んだ名称(16件)
  - おひつじ座海山
  - おうし座海山
  - ふたご座海山群など
- 海洋生物に因んだ名称(12件)
  - ウミウシ海脚
  - オオヒトデ平頂海山
  - チンアナゴ海脚など
- 海洋調査等に功績があった故人に因んだ名称(16件)
 

松丸海山	(松丸三郎氏	航空天測表(簡易天測表)の考案)
塚本平頂海山	(塚本裕四郎氏	水圧式自記測深機、星食予報器の研究考案)
青木海山	(青木斌氏	海洋地質学者)
我如古海山	(我如古康弘氏	海洋ジオイドモデルの考案)
水谷海山	(水谷新六氏	南鳥島の開拓者)
矢部海山群	(矢部長克氏	古生物学者)
歌代平頂海山	(歌代慎吉氏	航空磁気儀の研究開発)
秋吉平頂海山	(秋吉利雄氏	天測暦を完成)
小野海山	(小野弘平氏	流速計(験流器)開発者)
岸人海山群	(岸人三郎氏	海洋観測船隊を編成を構想)
本多平頂海山	(本多光太郎氏	水圧式験潮器の発明)
半沢平頂海山	(半沢正四郎氏	有孔虫学者)
田中館海山群	(田中館愛橘氏	地磁気測量、実験物理学者)
中野海山	(中野徳郎氏	無線電信による経度測定の実用化)
敬信海山	(鈴木敬信氏	天文学者、航海暦を推算・創刊)
孫七の星海山	(佐藤孫七氏	複数の海洋調査船に船長として乗船)